

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月19日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	公益財団法人 東北自治研修所	代表者名	伊丹 相治
担当者部署	教務	連絡先電話番号	022-351-5771
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	981-3341 宮城県富谷町成田2-22-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	宮城県	連絡先部署	宮城県公務研修所
担当者氏名		連絡先電話番号	022-351-5661
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	廣川 聡美
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">アンケート回答者65人の評価は、1 講話のテーマ設定及び内容は、76%の参加者が良い評価であり、また、2 講話の理解度は、82%の参加者理解できた評価であった。これは、理解しやすい論理展開、タイプ別の事例提示、わかりやすい話し方、表題に対応した提言が含まれていたためと思われる。具体的には、「話す内容がわかりやすく、AIに詳しくない私にもすっくと入ってきて大変良かった。講師に招聘したい」や「限られた時間の中でも様々な提言が含まれており勉強になった」「AI、RPAなどなんとなく耳にしてきたテーマの総合的な視点を得られた」「AIの行政における活用が知れた」等のコメントが多数寄せられた。
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none">限られた時間ではあったが、①最後の「人材育成」についての話が僅かとなった、②もう少し絞って掘り下げた解説がいただければ良かった、とのアンケートコメントをいただいた。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月6日	13時15分	15時15分		120
3-2. 派遣場所	会場名	東北自治総合研修センター		最寄駅	泉中央駅
	所在地	富谷市成田2-22-1			
	最寄駅からの交通手段	タクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	東北六県自治体の人事・職員研修担当の職員等	85人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	東北の自治体でも「AI・RPA等」の取り組みの胎動はあるものの、多くの自治体職員にとっては未知のジャンルであり、さらに支援対象者にとっては、AI・RPの現状、先を見据えた人材育成の方向性・展望等の知識習得が必要であった。そこで、この自治体にとってタイムリーな話題を研究会「講話」とし提供することを企画したが、自治体業務の視点からの識者が少なく、演者に課題があった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	上記の課題解決のため、AI・RPA等の知見を有する地域情報化アドバイザーの活用し、第52回研究会で「AI時代の自治体業務と人材育成」をテーマとして講話を行うことにより、直近の目標は、人事・研修担当者の現状認識及び意識改革を目指す。最終目標は、自治体のAI・IT時代を踏まえた、東北6県各自治体等の職員研修・人材育成事業の取組や研修メニュー構成への反映を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	H I R O研究所代表、総務省地域情報化アドバイザーの廣川聡美氏に「AI時代の自治体業務と人材育成」と題した2時間の講話の支援を受けた。具体的には、プロジェクターを使用し配付した資料もともに、I自治体経営環境の変化、IIデジタル改革がめざすもの、III AI時代の自治体行政の方向性、IV職員はどう対処すべきか?の構成で事例を交え講話いただくとともに、質疑にも応答いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	支援(講話)を受けることで、支援対象職員等の現状認識及び意識の変化、AI・RPA等に対する業務用途の考え、期待する役割、懸念、導入の前提条件、人材対策、人材育成がアンケートで確認できたことにより、直近の目標は達成された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	アドバイザーの講話による支援であるため、参加者アンケートとした。これにより支援対象者の意識の現状と変化等が把握できた。	
改善又は解決されなかった内容持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。添付資料のとおり←現在とりまとめ中です。後日お送りします。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	自治体のAI・IT時代を踏まえた、東北6県各自治体等の職員研修・人材育成事業の取組や研修メニュー構成への3年以内の反映を目指す。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

